

関西部会 2025 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】2025 年 4 月 19 日(土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 関西部会・会員総会を開催

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階) (上記会員総会と同一会場)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「アントレプレナー・マーケティングのフロンティア」

テーマの趣旨: アントレプレナーが生み出す起業、新事業、地域創生に対する、企業、社会の関心と期待が高まっています。この領域での教育、研究、社会貢献に、商業・マーケティング研究者がかかわることも増えています。4 月例会ではアントレプレナーの理論であるエフェクチュエーションを基軸に、研究報告と実践事例紹介を行います。会員の皆さまがアントレプレナー・マーケティングへの理解を深めていただく機会となることを願っています。

13:30～13:35(5 分)

解題

栗木契(神戸大学)

13:35～14:05 (30 分)

報告(1) 「エフェクチュエーションを支える『対話的・共感的な理解』」

報告者:栗木契(神戸大学)

14:05～14:20 (15 分) 質疑応答

14:25～14:55 (30 分)

報告(2) 「不確実性とエフェクチュエーションの関係—企業による市場創造事例の質的比較分析—」

報告者: 横山斉理(同志社大学)、吉田満梨(神戸大学)、栗木契(神戸大学)

14:55～15:10 (15 分) 質疑応答

(休憩 15 分)

15:25～16:10 (45 分)

ゲスト講演「1000 件超の新規事業創出を重ねるオカビズでの支援事例とそのノウハウ」

報告者: 秋元祥治 (岡崎ビジネスサポートセンター チーフコーディネーター、武蔵野大学アントレプレナーシップ教授)

16:15～17:00 (45 分)

パネルディスカッション「アントレプレナー・マーケティングの可能性」

司会:栗木契(神戸大学)

パネリスト: 横山斉理(同志社大学)

パネリスト: 秋元祥治 (岡崎ビジネスサポートセンター チーフコーディネーター、武蔵野大学アントレプレナーシップ教授)

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 6 月 21 日(土) 13:30～16:50

※13:00～13:30 部会理事・幹事による役員会開催。

【会場】 同志社大学今出川キャンパス 良心館 305 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

日本マーケティング学会ユーザー・イノベーション研究会 後援セッション

テーマ名: 「ユーザー・イノベーション研究の射程拡張:理論的深化と適用領域の広がり」

テーマの趣旨: 1970 年代に、従来の「企業起点のイノベーション」という伝統的枠組みに対し、それとは異なる視座として「ユーザー起点のイノベーション」が提起されたことを端緒に、ユーザー・イノベーション研究は発展してきた。近年では、その対象、手法、成果の観点から、研究の射程が大きく拡張している。たとえば、イノベーションを起こすユーザーの範囲は、企業外部の先進的なユーザーにとどまらず、企業内部における従業員でありつつ、自社分野の製品を日常的に利用する先進的なユーザーにまで広がっている。また、イノベーションの実現手法も、個人のスキルやコミュニティとの共創に加え、生成 AI との共創など、新たな技術環境を背景とした実践へと発展している。さらに、ユーザー・イノベーションの成果も、単に革新的な製品が開発されるだけでなく、ブランディングやプロモーションをはじめとするマーケティング活動全般にまで及んでいる。本セッションでは、こうしたユーザー・イノベーション研究の理論的な深化と適用領域の広がり注目し、最新の研究成果を共有するとともに、今後の研究の方向性についても展望する。

13:30～13:35(5 分)

解題「ユーザー・イノベーション研究の射程拡張:理論的深化と適用領域の広がり」

西川英彦 (法政大学)

13:35～14:15 (40 分)

報告(1)「複合的な共創情報の開示は、ユーザー発案製品の評価にどのような影響を与えるのか？」

報告者:岡田庄生 (法政大学)・西川英彦 (法政大学)

14:15～14:35 (20 分) 質疑応答

(休憩 5 分)

14:40～15:20 (40 分)

報告(2) 「企業内リードユーザー発案製品のラベル効果」

報告者: 渡邊裕也 (株式会社ユニテッドアローズ)・岡田庄生 (法政大学)・西川英彦 (法政大学)

15:20～15:40 (20 分) 質疑応答

(休憩 10 分)

15:50～16:30 (40 分)

報告(3) 「ユーザーイノベーションを支援するツールキットとしての生成 AI : その可能性と課題」

報告者:水野学(日本大学)

16:30～16:50 (20 分) 質疑応答

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 7 月 19 日(土) 14:00～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

・日本広告学会関西部会との合同開催

14:00～14:05 本例会の趣旨

【日本商業学会関西部会セッション】

14:05～14:35 (報告 20 分、質疑応答 10 分)

報告(1) 「インフルエンサー・マーケティングにおけるスポンサー提示の影響：フォロワーの購買意図とエンゲージメント行動の実証分析」

報告者:桂隠(神戸大学大学院)

14:35～15:25 (報告 30 分、質疑応答 20 分)

報告(2) 「営業による事業創出の考察：印刷会社の新事業事例研究から」

報告者: 本下真次(岡山理科大学)、成尾恒一郎(大興印刷株式会社)

15:25～15:40 休憩

【日本広告学会関西部会セッション】

15:40～17:00

報告「明治、大正期における森下仁丹の海外展開と広告戦略 ―仁丹時報、新聞広告、屋外
広告からみえるもの―」

報告者:井出文紀(近畿大学)

-----9月部会研究会-----

■九州部会との合同開催

【日時】2025年9月20日(土) 13:30～17:00

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名:「流通革命と公器セッション」

13:30～13:35(5分)

解題

栗木契(神戸大学)

13:35～14:25(50分)

講演「岡田卓也の時代:公器の理念が支えた静かなる流通革命」

講師:石井淳蔵先生(神戸大学名誉教授)

14:25～14:45(20分)

コメントおよび質疑応答:栗木契(神戸大学)、崔相鐵(関西大学)

(休憩10分)

テーマ名:「地域ブランドセッション」

14:55～15:35(40分)

報告(1)「広島お好み焼きのビジネス・エコシステムにおける経路依存性と偶発性」

報告者:細井謙一(広島経済大学)

15:35～15:55(20分) 質疑応答

(休憩5分)

16:00～16:40(40分)

報告(2)「ブランド・システムとしての地域ブランド理解についての考察」

報告者:金丸輝康(大阪学院大学)、明神実枝(福岡大学)

16:40～17:00 (20 分) 質疑応答

-----11 月部会研究会-----

【日時】 2025 年 11 月 15 日(土) 13:30～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

院生セッション

13:30～14:00(30 分)

報告「アドベンチャーツーリズムに関する考察－沖縄観光を事例として－」

上原彰公（沖縄国際大学産業総合研究所）

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「みんなで考えよう！ オムニチャネル研究」

14:00～14:05(5 分)

解題

近藤公彦（北海道武蔵女子大学）

14:05～14:45(40 分)

報告(1)

「オムニチャネル研究への学際的アプローチ」

近藤公彦（北海道武蔵女子大学）

(休憩 5 分)

14:50～15:30(40 分)

報告(2)

「オムニチャネルとマーケットシェイピング－商業とマーケティングの相克」

高嶋克義（追手門学院大学）

(休憩 10 分)

15:40～16:20(40 分)

報告(3)

「オムニチャネル化が促す小売企業のデジタル協働型組織変革」

今井紀夫（阪南大学）

(休憩 5 分)

16:25～17:00(35 分)

パネルディスカッション

近藤公彦 (北海道武蔵女子大学)

高嶋克義 (追手門学院大学)

今井紀夫 (阪南大学)

-----1 月部会研究会-----

【日時】 2026 年 1 月 24 日(土)13:30～17:00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

コーディネータ・セッション

テーマ:「地域創生における SDG s とマーケティング」

テーマの趣旨:地域創生におけるマーケティング実践の事例を題材に、その進め方や特徴、そしてその効果について多様な視点から考察した研究成果を報告する。

なお、本セッションは、「地域創生マーケティング研究会」(日本マーケティング学会リサーチプロジェクト)の研究成果の一部である。

コーディネータ:西村順二(甲南大学)

13:30～13:40(10 分)

解題「地域活性化視点に見る SDG s の一つの捉え方」

西村順二

13:40～14:20(40 分)

報告(1)「SDG s・地域創生におけるマーケティングの役割—地域実践からの一考察—」

報告者:山口夕妃子(佐賀大学)

14:20～14:25(5 分)質疑応答

14:25～14:55(30 分)

報告(2)「『デザイン経営』からみるテオリの竹循環型ビジネス」

報告者:陶山計介(関西大学名誉教授)

14:55～15:00(5 分)質疑応答

(休憩 10 分)

15:10～15:50(40 分)

報告(3)「SDGs と倫理的消費」

報告者：田中洋(中央大学名誉教授)

15：50～15：55(5分)質疑応答

(休憩5分)

16：00～16：55(55分)

パネルディスカッション

パネラー：陶山計介、田中洋、山口夕妃子

モデレーター：西村順二

16：55～17：00(5分)

閉会の辞と事務局連絡

関西部会 2024 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】2024 年 4 月 20 日 (土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 部会理事・幹事による役員会を開催

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

・日本広告学会関西部会との合同開催

13:30～13:35 本例会の趣旨

【日本商業学会関西部会セッション】

13:35～14:35 (報告 45 分、質疑 15 分)

報告(1)「ユーザー発案者効果 —ユーザー共創型製品がもたらすマーケティング成果—」

岡田庄生 氏 (法政大学大学院・博報堂)

14:35～14:45 (休憩)

【日本広告学会関西部会セッション】

14:45～15:45 (報告 45 分、質疑 15 分)

報告(2)「模倣商品としての PB と NB 商品の比較に関する実験的研究」

岡山武史 氏 (近畿大学)、林英夫 氏 (医療法人豊明会)

15:50～16:50 (報告 45 分、質疑 15 分)

報告(3)「ヒト・モノそしてココロを動かす商学—交通論と広告論の接点を探る—」
高橋愛典 氏 (ゲスト・近畿大学)

-----6月部会研究会-----

【日時】2024年6月15日(土) 13:30~17:00

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

・コーディネーター・セッション

テーマ名: 「デザインマネジメント」

テーマの趣旨:

現在のデザインマネジメント研究が直面する重要な課題のひとつは、その対象とするデザイン実践の拡大と、それに伴う研究の範囲の複雑化である。従来の技術的で製品中心のアプローチから、より人間中心主義的な視点や大規模な社会システムの変化に焦点を移すことで、近年のデザインマネジメント研究は新たな領域に進出している。

この拡大するデザイン実践を研究の対象として捉える際に、デザイン学の伝統的なアプローチや科学的手法だけでは十分でない。これまでデザイン学が「デザイン学の不在」を謳い、デザイン独自の知が科学化の不可能性にあることを前提にしながらも、デザイン学独自の知を探究してきたように、デザインマネジメント研究にも独自の方法論やアプローチの検討が必要となる。

デザインマネジメント研究が、これまでも商業学に関わる中心的な諸課題と密接に関連してきたことを鑑み、ここではデザインマネジメント研究における今日的課題を共有することで、商業学研究領域から得られる示唆について議論を深めたい。

13:30~13:35(5分)

解題

牧野耀 氏(金沢星稜大学)

13:35~14:00 (25分)

報告(1) 「デザインマネジメント研究の潮流と方法論的課題」

報告者:八重樫文 氏(立命館大学)

14:00~14:15 (15分) 質疑応答

(休憩5分)

14:20~14:50 (30分)

報告(2) 「スマートスピーカーの受容における楽しさに関する経験視点からの分析」

報告者:牧野耀 氏(金沢星稜大学)

14:50~15:05 (15分) 質疑応答

(休憩 10 分)

15:15～15:45 (30 分)

報告(3) 「デザイン文化醸成を促すメカニズムの探求：ポジティブアプローチからの考察」

報告者: 磯邊美香 氏(立命館大学大学院)

15:45～16:00 (15 分) 質疑応答

(休憩 10 分)

16:10～16:50 (40 分)

パネルディスカッションと質疑応答

16:50～17:00

事務連絡など

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2024 年 7 月 20 日(土) 13:30～16:20

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「ツーリズム研究から期待される示唆」

テーマの趣旨:

ポストコロナの日本において、外国との金利差やデジタル赤字、新 NISA に伴う国外証券投資から円安が進み、国内でも物価高が進行してきている。こうしたなか、外貨獲得の手段としてインバウンド・ビジネスへの期待は年々大きくなってきている。こうしたなか、旅マエ、旅ナカ、旅アトを包括的にとらえ、訪日によって芽生えた対日アフィニティにより、帰国後も輸出が促進されるインバウンド・アウトバウンド・ループ(池上・早稲田大学インバウンド・ビジネス戦略研究会, 2021) という好循環がにわかに注目されてきている。訪日は日本という「商品」を五感で体験してもらう最高の機会であり、その中核を担うのがツーリズムであるといえる(寺崎, 2024)。本セッションでは、わが国のツーリズム研究をリードする研究者と消費者行動の立場からツーリズムの研究を進める研究者を招き、その最先端の研究を報告していただくとともに、コーディネーターを交えたパネルディスカッションにより議論を深めていく。

13:30～13:35(5 分)

解題

寺崎新一郎(立命館大学)

13:35～14:15 (40 分)

報告(1) 「未来を見据えた観光研究 ― マーケティングの視点から」

報告者:佐野楓(和歌山大学)

14:15～14:35 (20 分) 質疑応答

(休憩 5 分)

14:40～15:10 (30 分)

報告(2) 「カスタマー・インスピレーションの先行要因に関する研究：観光地の動画コンテンツを刺激として」

報告者:田中祥司(摂南大学)・高橋広行(同志社大学)

15:10～15:30 (20 分) 質疑応答

(休憩 10 分)

15:40～16:10 (30 分)

パネルディスカッション及び質疑応答

パネリスト: 佐野楓(和歌山大学), 田中祥司(摂南大学), 寺崎新一郎(立命館大学)

コーディネーター: 寺崎新一郎(立命館大学)

16:10～16:20 (10 分)

閉会・事務局連絡

-----9 月部会研究会(九州部会と合同開催)-----

【日時】 2024 年 9 月 14 日 (土) 13:00～16:30

【会場】 福岡大学 2 号館 221 教室

※Zoom でのハイブリッド開催

【報告者および報告論題】 (※報告 30 分・質疑 15 分)

第 1 報告 13:00～13:45

吉川祐介氏 (神戸女子大学)・松田温郎氏 (西南学院大学)

「地域企業のエフェクチュエーションを可能にするコンサルティングのアクションリサーチ」

第 2 報告 13:50～14:35

細井謙一氏 (広島経済大学)

「広島お好み焼き産業におけるビジネスエコシステムと市場形成」

休憩 14:35～14:50

第3報告 14:50～15:35

明神実枝氏（福岡大学）

「地域ブランド形成過程についての一考察」

第4報告 15:40～16:25

日高優一郎氏（立命館大学）

「ワインツーリズムにおける産地イメージの変容 —立ち上げ期以降の追加調査にもとづく報告—」

-----11月部会研究会-----

【日時】2024年11月16日(土) 13:30～16:50

※13:00～13:30に部会理事・幹事による役員会を開催します。

役員の方は13:00にお越し下さい。

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

■院生セッション

13:30-14:05

伊藤佳代氏（甲南大学大学院）

「インターナショナルブランディングと価値共創：ベンチャーの2類型比較」

■コーディネーター・セッション

テーマ名：「みんなで考えよう！ ケース・スタディの方法」

14:05-14:10

開題 近藤公彦氏（小樽商科大学）

14:10-14:55

第1報告 近藤公彦氏（小樽商科大学）

論題：「ケース・スタディで迷子にならないために—Yin(2018)のケース・スタディ・マップ」

14:55-15:05

休憩

15:05-15:35

第2報告 水野 学氏（日本大学）

論題：「ケース・スタディの迷宮ーYin のマップを持って迷った研究者の物語」

15:35-16:05

第3報告 吉田満梨氏（神戸大学）

論題：「ケース・スタディの五里霧中ーマップを手はどう前に進むか」

16:10-16:45

ディスカッション

16:45-16:50

事務連絡など

-----1 月部会研究会-----

【日時】2025年1月25日(土) 13:00～17:00

※13:00～13:30 に関西部会・会員総会を開催いたします。ご参加の程お願い申し上げます。

【会場】甲南大学 岡本キャンパス 1号館3階 132教室

最寄り駅：阪急岡本駅・JR 摂津本山駅

【報告者および報告論題】

コーディネータ・セッション

テーマ名：「流通・マーケティングにおける歴史研究、その着眼と進め方」

テーマの趣旨：流通・マーケティング研究において歴史分析に基づく研究成果は多数見られます。

定性分析の代表的なアプローチとしても定着していると言えるでしょう。

今回の部会は、この歴史分析にお詳しい先生方に現在の研究成果をご報告いただき、

歴史分析の進め方や着眼について学ぶ機会になることを意図しました。

13:30～13:35(5分)

「解題 流通・商業・マーケティング研究における歴史分析を考える」

西村 順二 氏（甲南大学）

13:35～14:20(報告40分・質疑応答5分)

報告(1) 「マーケティング実践史の研究手法に関する一提案ー1930年代の東京電気の卸系

列化の事例からー」

報告者: 大内 秀二郎 氏 (近畿大学)

14:20~15:05 (報告 40 分・質疑応答 5 分)

報告(2)「歴史研究のおもしろさーアパレル産業草創期における女性デザイナーの役割に注目してー」

報告者: 藤岡 里圭 氏 (東京大学)

15:05~15:15 (休憩 10 分)

15:15~16:00 (報告 40 分・質疑応答 5 分)

報告(3)「戦前・戦時下の流通政策における振興と統制ー古書籍商の組合制度の変遷を中心にー」

報告者: 渡辺 達朗 氏 (専修大学)・山崎 万緋 氏 (専修大学大学院)

16:00~16:10 (休憩 10 分)

16:10~16:55 (45 分)

パネルディスカッション

パネラー: 渡辺 達朗 氏 (専修大学)

: 藤岡 里圭 氏 (東京大学)

: 大内 秀二郎 氏 (近畿大学)

コーディネータ: 西村 順二 氏 (甲南大学)

16:55~17:00 事務局連絡 (5 分)

関西部会 2023 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2023 年 4 月 15 日 (土) 13:20~17:00

【会場】 立命館大学 大阪いばらきキャンパス

A 棟 3 階 (南ウイング) セミナールーム AS368 号室

【報告者および報告論題】

=== 自由論題セッション ===

13:20~13:50 (30 分)

報告 (1) 「情報源としての企業間クチコミの役割: 組織文化と心的距離の影響」

報告者: 石井隆太 (立命館大学)・菊盛真衣 (立命館大学)

13:50~14:10 (20 分) 質疑応答

14：15～14：45（30分）

報告(2)「クロスボーダー・パートナーシップの形成に関する研究 ～国境を越えた企業間関係を社会的交換理論の視座から考察する～」

報告者：伊東正裕（香港貿易発展局 東京事務所長）

14：45～15：05（20分） 質疑応答

（休憩 10分）

15：15～15：45（30分）

報告(3)「外食における消費者行動の研究 情報活用に着目した購買意思決定プロセス」

報告者：島浩二（大阪公立大学大学院 都市経営研究センター）

15：45～16：05（20分） 質疑応答

16：10～16：40（30分）

報告(4)「ロボットの擬人化がサービス失敗後顧客のネガティブな反応に与える影響 — 擬人化デザインの種類に着目して—」

報告者：胡怡（こ・い）（広島経済大学）

16：40～17：00（20分） 質疑応答

-----6月部会研究会-----

【日時】2023年6月17日（土）13:30～17:00

※13:00～13:30には、部会理事・幹事による役員会を開催

【会場】レンタル会議室プロム 第2会議室（大阪駅前第4ビル20階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名：「サービス消費における購買意思決定」

13:30～14:10(40分)

報告(1)「サービス消費における選択行動の規程因」

報告者：山本昭二（関西学院大学）

14:10～14:30(20分) 質疑応答

（休憩 10分）

14:40～15:20(40分)

報告(2)「所有とシェアリングの選択に影響を与える消費者特性—カーシェアリングサービス利用者に対するアンケート調査の結果—」

報告者：三浦玉緒（流通科学大学）

15:20～15:40（20分） 質疑応答

(休憩 10 分)

15:50～16:30(40 分)

報告(3)「デジタル社会における家族の購買意思決定」

報告者: 森藤ちひろ (関西学院大学)

16:30～16:50(20 分) 質疑応答

-----7 月部会研究会-----

【日時】2023 年 7 月 15 日 (土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 には、部会理事・幹事による役員会を開催。

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第 2 ビル 6 階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「小売業の現代的課題」

テーマの趣旨: 「変化対応業」とも呼ばれる小売業界において、現在とくに大きな「変化」と考えられる

3 つのトピック (E コマースの進展、海外市場での競争、商品の自主企画) について議論します。

13:30～13:35 (5 分)

解題 清水信年 (流通科学大学)

13:35～14:15 (40 分)

報告 (1) 「いかなる小売企業が実店舗と EC のクロスチャネル統合を達成するか？」

報告者: 梶田真生 (流通科学大学)

14:15～14:35 (20 分) 質疑応答

(休憩 5 分)

14:40～15:20 (40 分)

報告 (2) 「日本小売企業の海外再進出に向けたモデル構築 -アジア市場の事例から-」

報告者: 柳 純 (下関市立大学)

15:20～15:40 (20 分) 質疑応答

(休憩 10 分)

15:50～16:30 (40 分)

報告 (3) 「PB 戦略の新たな展開 -価格訴求から複層化戦略へ-」

報告者: 大野尚弘 (金沢学院大学)

16：30～16：50（20分） 質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】2023年9月16日（土） 13：30～17：00

※13：00～13：30には、部会理事・幹事による役員会を開催。

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名：「マーケティングと社会的価値」

テーマの趣旨：ソーシャルメディアの普及に伴い、ブランドを通じた自己表現や自己呈示、そして同じブランドへの興味・関心を抱く消費者同士の結びつきなど、ブランドが持つ社会的な価値が注目されています。

今回は、こういった社会的価値に焦点を当てつつ、消費者側と企業側の双方から議論を行う予定です。

13：30～13：35（5分）

解題 報告者：羽藤雅彦（流通科学大学）

13：35～14：15（40分）

報告(1)「発信者の異なる情報源への接触が消費者に及ぼす影響」

報告者：藪野祥太（流通科学大学）

14：15～14：35（20分） 質疑応答

（休憩5分）

14：40～15：20（40分）

報告(2)「消費者の自己呈示行動とブランドの自己呈示機能の関係」

報告者：山本奈央（名古屋市立大学）

15：20～15：40（20分） 質疑応答

（休憩10分）

15：50～16：30（40分）

報告(3)「企業活動におけるコミュニティの可能性の今」

報告者：上地浩之（株式会社博報堂）

16：30～16：50（20分） 質疑応答

-----10 月部会研究会-----

【日時】2023 年 10 月 21 日（土）13:30～16:10 ※役員会の開催はなし

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

【報告者および報告論題】大学院生セッション

13:30～14:10（40 分）

報告(1) 「S-D ロジックの中範囲理論としてのプレイス・ブランドの価値共創-ベネッセア
ートサイト直島を事例に-」

報告者：崔琳源（立命館大学大学院）

14:10～14:25（15 分）コメント：庄司真人（高千穂大学）

14:25～14:45（20 分） 質疑応答

（休憩 10 分）

14:55～15:35（40 分）

報告(2) 「パラソーシャル現象とインフルエンサーの信憑性がフォロワーの購買意図に与え
る影響に関する研究」

報告者：桂隠（神戸大学大学院）

15:35～15:50（15 分）コメント：南川和充（南山大学）

15:50～16:10（20 分） 質疑応答

-----11 月部会研究会-----

【日時】2023 年 11 月 18 日（土）13:30～17:00

※13:00～13:30 部会理事・幹事による役員会

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名：「商業学における質的研究」

テーマの趣旨：データサイエンスが注目される中、量的、質的問わず、データの解釈がますます重要になってきている。

こうしたなか、質的研究のエッセンスに触れることで、より包括的なデータの解釈が可能となり、新たな理論や概念の提示に結びつく可能性がある。

本セッションでは質的研究をリードしてきた研究者 2 名による報告と、コーディネータを交えたパネルディスカッションを行うことで、質的研究の面白さや困難さ、成功へのポイントなどについて議論を深めていく。

13:30～13:35(5分)

質的研究のポテンシャルを改めて問う

寺崎新一郎(立命館大学)

13:35～14:15 (40分)

報告(1) 「価値創造活動はいかに支援可能か ―企業家とパートナーの関係構築」

報告者:吉田満梨(神戸大学)

14:15～14:35 (20分) 質疑応答

(休憩5分)

14:40～15:20 (40分)

報告(2) 「企業アカウントの「中の人」の役割：ヒューマンブランド研究における真正性の管理」

報告者:水越康介(東京都立大学)・麻里久(東京都立大学大学院)

15:20～15:40 (20分) 質疑応答

(休憩10分)

15:50～16:30 (40分)

パネルディスカッション

パネリスト: 水越康介(東京都立大学), 吉田満梨(神戸大学), 寺崎新一郎(立命館大学)

コーディネーター: 寺崎新一郎(立命館大学)

16:30～16:50 (20分) 質疑応答

16:50～17:00 (10分) 閉会・事務局連絡

-----1月部会研究会-----

【日時】2024年1月20日(土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 部会理事・幹事による役員会

【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

流通・商業 コーディネーターセッション

13:30～13:35

報告(1) 「解題 流通・商業の実動・実装における諸課題」

報告者 西村順二氏(甲南大学)

13：35～14：35（報告40分・質疑20分）

報告(2)「商業論は生態系を描けるのか？」

報告者 松田温郎 氏（西南学院大学）

14：35～14：45 休憩

14：45～15：55（2名合計報告50分・質疑20分）

14：45～15：05

報告(3)「日本における魚介類流通の課題」

報告者 二宮麻里氏（大阪公立大学）

15：05～15：35（オンライン報告）

報告(4)「水産物サプライチェーンにおけるトレーサビリティ確立のインパクト
—養殖マグロのブロックチェーン技術をめぐる—」

報告者 Gareth Tomas 氏（Bond University）

15：55～16：05 休憩

16：05～16：55（報告30分・質疑20分）

報告(5)「小売業近代化への胎動—昭和初期における小売業の諸問題—」

報告者 石原武政 氏（大阪市立大学名誉教授）

関西部会 2022年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2022年4月16日（土）13：30～16：00

【会場】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）※対面開催

【報告者および報告論題】

===自由論題セッション===

13：30～13：35（5分）

解題

担当者：結城祥（神戸大学）

13：35～14：15（40分）

報告(1) 「強固な関係性に割って入る第3者の存在：企業間関係におけるサプライヤースイッチ」

報告者：薄井健（帝塚山大学）

キーワード： サプライヤースイッチ、企業間関係、関係性ライフサイクル、ベロシティ、
先行研究レビュー

14：15～14：35（20分） 質疑応答

（休憩 10分）

14：45～15：25（40分）

報告（2） 「企業・事業所マイクロデータに基づく牛乳乳製品産業の価値創造・提供過程の
実証分析」

報告者：軽部大（一橋大学イノベーション研究センター）

原泰史（神戸大学大学院経営学研究科/一橋大学大学院経済学研究科帝国データバ
ンク 企業・経済高度実証研究センター(TDB-CAREE))

キーワード：現象、データ解析、企業データ、価値創造

15：25～15：45（20分） 質疑応答

-----6月部会研究会-----

【日時】 2022年6月18日（土）13：30～16：50

【会場】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

「ツーリズム・マネジメントに関する研究と実践」

13：30～13：40（10分）

解題

担当者：佐野 楓（和歌山大学）

13：40～14：20（40分）

報告（1） 「大阪の観光とDMOの役割」

報告者：藤田 友里佳（大阪観光局 広報・渉外担当 兼 万博・IR推進担当）

14：20～14：35（15分） 質疑応答

（休憩 10分）

14：45～15：25（40分）

報告（2） 「スマートな交通まちづくりとMaaS —和歌山県の事例紹介を中心に」

報告者：辻本 勝久（和歌山大学経済学部 兼 和歌山大学大学院観光学研究科 教授）

15：25～15：40（15分） 質疑応答

（休憩 10分）

15：50～16：30（40分）

報告（3） 「日本のホテルグループのチェーン組織の形態と業績への影響の考察：サービス集中戦略の効果と複数ブランド戦略の課題」

報告者：若林 直樹（京都大学経営管理大学院 教授）

16：30～16：45（15分） 質疑応答

16：45～16：50（5分）

クロージング

担当者：佐野 楓（和歌山大学）

-----7月部会研究会-----

【日時】 2022年7月16日（土）14：00～16：20

【会場】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名：マーケティング論における量的調査を考える

14：00～14：10（10分）

解題

担当者：森村文一（神戸大学）

14：10～14：50（40分）

報告（1） 「海外流通におけるチャンネル強度：製造企業に対するサーベイデータの分析」

報告者：石井隆太（立命館大学 経営学部 准教授）

14：50～15：10（20分） 質疑応答

（休憩 10分）

15：20～16：00（40分）

報告（2） 「消費者へのアプローチを考える ～センサリー・マーケティング研究を題材とした検討～」

報告者：石井裕明（青山学院大学 経営学部 准教授）

16：00～16：20（20分） 質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】2022年9月17日(土) 13:30~17:00

【会場】レンタル会議室プロム 第2会議室(大阪駅前第4ビル20階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名:「価値創出のプロセスとマーケティング」

13:30~13:35(5分)

解題 秋山 秀一(兵庫県立大学)

13:35~14:20(45分)

報告(1) 「伝統産業にみる価値の創出プロセス」

報告者:秋山 秀一・小宮 一高(兵庫県立大学)

14:20~14:35(15分) 質疑応答

(休憩10分)

14:45~15:35(50分)

報告(2) 「強みをデザインする商品開発 ~小さな企業が生き残る~」

報告者:金谷 勉(有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 クリエイティブディレクター)

15:35~15:50(15分) 質疑応答

(休憩10分)

16:00~16:45(45分)

報告(3) 「移動体験の未来をつくる -「最終的な目標をもたないデザイン行動」の考察」

報告者:廣田 章光(近畿大学)

16:45~17:00(15分) 質疑応答

-----10月部会研究会-----

【日時】2022年10月15日(土) 13:30~17:00

【会場】大阪市立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

大学院生セッション

13:30~14:00(30分)

報告 (1) 「過剰な販促情報が消費者のオンラインショッピング行動に及ぼす影響」

報告者：LAU Honkit (リュウ・ホンキト) (立命館大学大学院経営学研究科)

14：00～14：15 (15分) コメント：中川宏道 (名城大学)

14：15～14：30 (15分) 質疑応答

(休憩 10分)

14：40～15：10 (30分)

報告 (2) 「広告エンドローサーの自己開示効果：スポークスキャラクターに着目して」

報告者：小倉優海 (立命館大学大学院経営学研究科)

15：10～15：25 (15分) コメント：結城祥 (神戸大学)

15：25～15：40 (15分) 質疑応答

(休憩 10分)

15：50～16：20 (30分)

報告 (3) 「個人情報保護法がパーソナライズド SNS 広告の回避に及ぼす影響」

報告者：范沈俐 (ハン・チンリ) (神戸大学大学院経営学研究科)

16：20～16：35 (15分) コメント：高嶋克義 (追手門学院大学)

16：35～16：50 (15分) 質疑応答

-----11月部会研究会-----

【日時】 2022年11月19日 (土) 13：30～17：00

【会場】 大阪公立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

13：30～13：40 (10分)

「解題 有機野菜の生産・流通の現状に見る今後の市場展開の可能性」

西村順二 (甲南大学)

13：40～14：20 (40分)

報告(1) 「オーガニックの「価値」を形成する多様でワガママな主体者：日仏の有機食品市場の比較から」

報告者：工藤 (原) 由佳 (早稲田大学グローバル・ストラテジック・リーダーシップ研究所 招聘研究員)

14：20～14：40 (20分) 質疑応答

14：40～15：20（40分）

報告（2）「有機農産物の信頼形成プロセスにおける認証制度」

報告者：白貞壬（流通科学大学）

15：20～15：40（20分） 質疑応答

（休憩 10分）

15：50～16：50（60分）

パネル・ディスカッション

パネリスト：工藤（原）由佳（早稲田大学）、白貞壬（流通科学大学）、二宮麻里（大阪公立大学）

コーディネーター：西村順二（甲南大学）

16：50～17：00（10分）

閉会と事務局連絡

-----1月部会研究会-----

【日時】：2023年1月21日（土）13：30～17：00

【会場】：広島経済大学 立町キャンパス132教室（3階）

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

創られた伝統と創るマーケティング～マーケティングと食文化の関係を考える～

13：30～13：40（10分）

「解題 地理的特性でも文化的特性でも説明できない名物の不思議」

細井謙一（広島経済大学）

13：40～14：20（40分）

報告(1)「広島のお好み焼きはいかにしてソウルフードになったのか：ビジネスエコシステム形成とマーケティング」

報告者：細井謙一（広島経済大学）

14：20～14：40（20分） 質疑応答

（休憩 10分）

14：50～15：30（40分）

報告(2)「食文化の海外展開：オタフクソースのマレーシア進出の事例から」

報告者：松川佳洋（広島経済大学）

15：30～15：50（20分） 質疑応答

(休憩 10 分)

16：00～16：40 (40 分)

報告(3) 「辛子明太子の博多名物化プロセス：地域ブランドの観点からの一考察」

報告者：明神実枝 (福岡大学)

16：40～17：00 (20 分) 質疑応答

関西部会 2021 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2021 年 4 月 17 日 (土) 13:30-17:00 ※役員会 13:00～

【会場】 Zoom を用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

== コーディネーター・セッション ==

「コロナ禍における流通・マーケティングの指導法」

13：30～14：00 (30 分)

報告 (1) 「コロナ禍における大学院留学生の調査実態」

清水信年 (流通科学大学)

14：00～14：15 (15 分) 質疑応答

14：15～14：45 (30 分)

報告 (2) 「大人数オンデマンド科目での双方向授業の実践報告」

報告者：岡田庄生 (博報堂ブランド・イノベーションデザイン局、法政大学非常勤講師・同大学院博士課程)

14：45～15：00 (15 分) 質疑応答

休憩 10 分

15：10～15：40 (30 分)

報告 (3) 「電子教科書を用いた遠隔授業の実践」

報告者：遠藤明子 (福島大学)

15：40～15：55 (15 分) 質疑応答

休憩 5 分

== 自由論題セッション ==

16:00~16:40 (40 分)

研究報告「戦前のミキモトの国内市場と海外市場のアプローチ比較」

報告者：杉林弘仁（神戸大学大学院博士課程）

16:40~17:00 (20 分) 質疑応答

-----6 月部会研究会-----

【日時】 2021 年 6 月 19 日（土）13:30-17:10 ※役員会は開催しません

【会場】 Zoom を用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

== コーディネーター・セッション ==

「便益遅延型サービス研究からみたマーケティング研究の課題と展望」

13:30~13:40 (10 分)

解題

担当者：藤村和宏（香川大学）

13:40~14:35 (55 分 (質疑応答を含む))

報告 (1) 「教育サービスのマーケティングに関する考察～学習者の目標の達成と向上の観点から～」

報告者：藤村和宏（香川大学）

休憩 10 分

14:45~15:40 (55 分 (質疑応答を含む))

報告 (2) 「教育サービスにおける便益遅延現象に関する探索的考察」

報告者：小林哲（大阪市立大学）・佐藤圭（甲南大学）

休憩 10 分

15:50~16:45 (55 分 (質疑応答を含む))

報告 (3) 「医療におけるサービス・マネジメントの可能性

～便益遅延性とナラティブ・アプローチの視点から～」

報告者：高室裕史（甲南大学）

交代 5 分

16:50～17:00 (10 分)

総括

担当者：藤村和宏 (香川大学)

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2021 年 7 月 17 日 (土) 13:30～17:00 ※役員会は開催しません

【会場】 Zoom を用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

== コーディネーター・セッション ==

「新たな地域商業の可能性などについて」

13:30～13:40 (10 分)

解題

担当者：若林靖永 (京都大学)

13:40～14:25 (45 分)

報告 (1) 「わが国地域商業のあり方 ―フランス流通の動向に学ぶ―

報告者：田中道雄 (大阪学院大学)

14:25～14:40 (15 分) 質疑応答

休憩 10 分

14:50～15:35 (45 分)

報告 (2) 「地域の稼ぎ」を高めるまちづくり事業 ～「まちやど」と「地域マーケット」への地域付加価値創造分析の適用～

報告者：稲垣健治 (一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構事務局長、京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 部門B 研究会メンバー)

15:35～15:50 (15 分) 質疑応答

休憩 10 分

16:00～16:45 (45 分)

報告 (3) 「地域商業における『新たなグループ』の特性に関する予備的考察」

報告者：高田剛司 (立命館大学)

16:45～17:00 (15 分) 質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】：2021年9月18日（土）13：30～17：00

【会場】：Zoomを用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

==コーディネーター・セッション==

「新たな価値の創造・受容に関する理論と実践」

13：30～13：40（10分）

解題・報告者のご紹介

担当者：吉田満梨（神戸大学大学院経営学研究科）

13：40～14：25（45分）

報告（1） 「フォーサイト・クリエイションー新たな価値創造のための方法論」

報告者：松波晴人（大阪大学共創機構産学共創本部）

14：25～14：40（15分） 質疑応答

（休憩10分）

14：50～15：35（45分）

報告（2） 「イノベーターの試行錯誤における表現行動と対話」

報告者：廣田章光（近畿大学経営学部）

15：35～15：50（15分） 質疑応答

（休憩10分）

16：00～16：45（45分）

報告（3） 「日本における代替食品の受容の可能性ーフード・テック分野における消費者の受容阻害要因に着目してー」

報告者：地頭所里紗（龍谷大学政策学部）

16：45～17：00（15分） 質疑応答

-----10月部会研究会-----

【日時】：2021年10月16日（土）13：30～17：00

【会場】：Zoomを用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

==大学院生セッション==

13：30～13：35（5分）

解題・報告者のご紹介

担当者：結城祥（神戸大学大学院経営学研究科）

13：35～14：05（30分）

報告（1）「地域ブランドにおけるブランド構築行動に関する研究」

報告者：洪性舜（ホンソンソン）（流通科学大学 高等教育推進センター研究員）

キーワード：地域ブランド、地域産品、ブランディング、ブランド構築行動、強いブランド

14：05～14：20（15分） コメント：小林哲先生（大阪市立大学）

14：20～14：35（15分） 質疑応答

（休憩 10分）

14：45～15：15（30分）

報告（2） 「対面および遠隔のサービス環境が自己調整プロセスとサービス品質に与える影響」

報告者：下坂光（神戸大学大学院）

キーワード：サービス品質、自己調整学習、遠隔教育、遠隔医療、社会的インパクト理論

15：15～15：30（15分） コメント：山本昭二先生（関西学院大学）

15：30～15：45（15分） 質疑応答

（休憩 10分）

15：55～16：25（30分）

報告（3） 「消費者はなぜ SNS 広告を回避するのか？－制御適合理論に基づく説明－」

報告者：范沈俐（ハンチンリ）（神戸大学大学院）

キーワード：SNS、広告回避、制御焦点、制御適合理論、実験法

16：25～16：40（15分） コメント：岸谷和広先生（関西大学）

16：40～16：55（15分） 質疑応答

-----11月部会研究会-----

【日時】：2021年11月20日（土）13：30～17：00

【場所】：Zoom を用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

==コーディネーター・セッション==

テーマ名：「DXの進展に伴うチャネルマネジメント研究の新たな展望」

テーマの趣旨：デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展に伴い、企業の諸活動が新たな局面に入っている。今回のテーマセッションにおいては、顧客、チャネルメンバー、

そしてサプライヤーとの関係性の管理、それに基づく製品開発活動に焦点を当て、チャンネルマネジメントに関する新しい理論的課題を提示し、議論したいと考えている。

13：30～13：45（15分）

解題

西岡健一（関西大学）

13：45～14：25（40分）

報告（1）「DXの進展によるサプライヤー・エンクロッチメント」

報告者：南知恵子（神戸大学）

14：25～14：40（15分） 質疑応答

（休憩10分）

14：50～15：30（40分）

報告（2） 「PB受託はNB開発力を鍛えるか？」

報告者：結城祥（神戸大学）

15：30～15：45（15分） 質疑応答

（休憩10分）

15：55～16：35（40分）

報告（3） 「DXがもたらすチャンネルの理論的課題」

報告者：高嶋克義（追手門学院大学）

16：35～16：50（15分） 質疑応答

16：50～17：00（10分）

Closing

西岡健一（関西大学）

-----1月部会研究会-----

【日時】：2022年1月22日（土）13：30～17：00

【場所】：Zoomを用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

==コーディネーター・セッション==

テーマ名：卸売業者の中抜き動向に見る新たな流通様式の胎動

テーマの趣旨：近年、いわゆる流通の中抜き現象が進んでいる。一方で、食料品や日用雑貨品等では中間流通の果たす役割は依然として堅持されている。これら中間流通に見られる現実から、従来の流通諸機能の効率的遂行だけではなく、流通経路の垂直的構造における新たな役割が注目されている。本セッションでは、仲介、新たな市場創造、卸-小売の関係性等をキーワードに、理論研究として、また実証研究としてこれら新たな流通現象を検討し、議論する。

13：30～13：40（10分）

解題 卸売流通の現代的役割の再考

西村順二（甲南大学）

13：40～14：20（40分）

報告（1）「円滑な商取引を支える基盤とは何かー有機農産物のコミュニティの形成をめぐって」

報告者：二宮麻里（大阪市立大学）

14：20～14：40（20分） 質疑応答

14：40～15：20（40分）

報告（2）「小売競争における卸売業者の役割ー卸は誰と共存してきたのか？」

報告者：杉本宏幸（福岡大学）

15：20～15：40（20分） 質疑応答

15：40～15：50（休憩 10分）

15：50～16：30（40分）

報告（3）「生鮮食品流通における仲介型ビジネス」

報告者：加藤 司（大阪商業大学）

16：30～16：50（20分） 質疑応答

16：50～17：00（10分）

Closing

西村順二（甲南大学）

関西部会 2020 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため中止

-----6 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため中止

-----7 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウイルス感染拡大防止のため中止

-----9 月部会研究会-----

※新型コロナ・ウィルス感染拡大防止のため中止

-----10 月部会研究会(関東・関西部会共同の特別企画)-----

【日時】 2020 年 10 月 17 日 (土) 13:00～17:00

【開催方法】 Zoom によるオンライン開催

【報告者および報告論題】

13:30～ 事務局からの挨拶・連絡

13:40～ 研究報告 (自由論題)

報告：「19 世紀西欧での伝統的大学と新興工科大学の学位授与競争：自然哲学が
近代科学の基礎領域を事業ドメインにしていく過程」

報告者：入江信一郎 (京都工芸繊維大学)

14:45～ 休憩

15:00～ 特別企画

田村正紀先生 (神戸大学名誉教授) 講演会

「流通研究の新方法論：過程追跡と QCA は何を狙っているのか (仮)」

-----11 月部会研究会-----

【日時】 2020 年 11 月 21 日 (土) 13:30-16:20

【会場】 Zoom を用いたオンライン開催

【報告者および報告論題】

「大学院生セッション」(13:30-16:20)

13:30～ 事務局からのご挨拶・連絡

13:40～ 研究報告：崔琳源 (立命館大学大学院 博士後期 1 年)

「サービスエコシステムからみたベネッセアートサイト直島における価値共創」

14:25～ 休憩 (調整時間)

14:30～ 研究報告： 小倉優海（立命館大学大学院 博士前期2年）
「広告研究におけるキャラクターエンドーサー概念の整理と再検討」

15:15～ 休憩（調整時間）

15:30～ 研究報告： 巖秀延（立命館大学大学院 博士前期2年）
「不買運動におけるブランド力のダークサイド」

16:20 終了予定

-----1月部会研究会-----

【日時】 2021年1月23日（土）13:30-17:00

【会場】 Zoomを用いたオンライン開催

13:00-13:20

会員総会

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション「価格研究の最前線」

13:30～13:40（10分）

解題「価格研究の現状」

中川宏道（名城大学）

13:40～14:25（45分）

研究報告（1）「価格変更戦略の理論的フレームワークの構築」

報告者：岩本明憲（関西大学）

14:25～14:40（15分） 質疑応答

（休憩10分）

14:50～15:35（45分）

研究報告（2）「定額料金制に関する一考察」

報告者：兼子良久（山形大学）

15:35～15:50（15分） 質疑応答

（休憩10分）

16：00～16：45（45分）

研究報告（3）「値引きは美德カテゴリーよりも悪徳カテゴリーの方が効果的か？
：カテゴリーレベルの価格弾力性の測定」

報告者：中川宏道（名城大学）・加藤諒（神戸大学）・星野崇宏（慶應義塾大学）

16：45～17：00（15分）質疑応答

関西部会 2019年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2019年4月20日（土）13:30-17:00

【場所】 神戸大学梅田インテリジェントラボラトリー（梅田ゲートタワー8F）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30-17：00）

テーマ：「さまざまな小売業研究」

コーディネーター：岸本徹也（日本大学）

13：30-13：40（10分）

解題：「さまざまな小売業研究」

岸本徹也（日本大学）

13：40-14:20（40分）

報告(1)：「小売(業)とサービス(業)の境界」

報告者：石川和男（専修大学）

14：20-14：40（20分）質疑応答

14：40-14：50（10分） 休憩

14：50-15：30（40分）

報告(2)： 「PB開発における品質問題-PB開発論構築に向けて-」

報告者：大野尚弘（金沢学院大学）

15：30-15：50（20分）質疑応答

15：50～16：00 (10分) 休憩

16：00-16：40 (40分)

報告(3)：「地域商業の現場でつくられる研究者像とその効果について」

報告者：松田温郎 (山口大学)

16：40-17：00 (20分)質疑応答

-----6月部会研究会-----

【日時】 2019年6月15日(土) 13:30-17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13：30-17：00)

テーマ：「アジアの商ネットワークの進化とファミリービジネスの役割」

コーディネーター：崔 相鐵 (関西大学)

13：30～13：40 (10分)

解題：「スローバリゼーション(slowbalisation)時代におけるアジア小売市場」

報告者：崔 相鐵 (関西大学)

13：40～14:20 (40分)

報告(1)：「アジア小売市場における主役交代：人的ネットワークを重視する
現地コングロマリット型企業の浮上」

報告者：崔 相鐵 (関西大学)

14：20～14：40 (20分) 質疑応答

14：40～14：50 (10分) 休憩

14：50～15：30 (40分)

報告(2)：「温州商人の人的ネットワークと海外進出」

報告者：柳 到亨 (和歌山大学)・張 華 (山梨学院大学)

15：30～15：50 (20分)質疑応答

15：50～16：00 (10分) 休憩

16：00～16：40 (40分)

報告(3)：「老舗ファミリー企業の存続と衰退のメカニズム：技能系企業のビジネスシステム」

報告者：曾根秀一（静岡文化芸術大学）

16：40～17：00 (20分)質疑応答

-----7月部会研究会-----

【日時】 2019年7月20日（土）13:30-17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30-17：00）

テーマ：「現代流通研究の前進を目指してー概念化、実証分野、方法論等を探る」

コーディネーター：西村順二（甲南大学）

13：30～13：35 (5分)

解題：西村順二（甲南大学）「問題提起 流通研究の地平」

13：35～14:10 (35分)

報告(1)：「店舗オペレーション研究の展開」

報告者：岸本徹也（日本大学）

14：10～14：45 (35分)

報告(2)：「流通論における伝統概念、現象変化、研究モードとその今後についての一考察」

報告者：東 伸一（青山学院大学）

14：45～14：55 (10分) 休憩

14：55～15：30 (35分)

報告(3)：「流通モード進化論の狙いと課題」

報告者：田村正紀（神戸大学 名誉教授）

15：30～15：40 (10分) 休憩

15：40～16：55 (75分) パネルディスカッション

パネラー：田村正紀

東 伸一

岸本徹也

ファシリテーター：西村順二

-----9月部会研究会-----

【日時】 2019年9月21日(土) 13:30-17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール (大阪駅前第2ビル6階)

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13:30-17:00)

テーマ：「地域活性化研究の再検討」

コーディネーター：小宮一高 (兵庫県立大学)

13:30～13:35 (5分)

解題：小宮一高 (兵庫県立大学) 「地域活性化研究の再検討」

13:35～14:35 (報告40分、質疑20分)

報告(1)：「豊島の再生化ストーリーに関する一考察」

報告者：中見真也 (学習院大学)、大崎恒次 (専修大学)、圓丸哲麻 (大阪市立大学)

14:35～14:45 (10分) 休憩

14:45～15:45 (報告40分、質疑20分)

報告(2)：「中小企業のネットワークと地域産業の再興」

報告者：小宮一高 (兵庫県立大学)、金雲鎬 (日本大学)、秋山秀一 (兵庫県立大学)、猪口純路 (小樽商科大学)

15:45～15:55 (10分) 休憩

15:55～16:55 (報告40分、質疑20分)

報告(3)：「関係性概念にもとづく公共・非営利マーケティング研究の再検討ーワイントゥーリ

ズムの事例研究—」

報告者：日高優一郎（岡山大学）、水越康介（首都大学東京）

-----10月部会研究会-----

【日時】 2019年10月19日（土）13:30-17:00

【会場】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

大学院生セッション（13：30-17：00）

13：30～14：15（発表25分・質疑20分）

報告(1)：「オムニチャネル小売業における顧客エンゲージメント行動に関する研究」

報告者：高 夢嘉（神戸大学大学院）

14：15～15：00（発表25分・質疑20分）

報告(2)：「共同仕入れ機構における戦略的統合と企業成果の関係：バイイング・グループ・エクイティの媒介効果の視点」

報告者：胡 ビン（立命館大学大学院）

15:00～15:20（20分） 休憩

15：20～16：05（発表25分・質疑20分）

報告(3)：「広告エンドーサーの種類と製品説明の分量が消費者の広告評価に及ぼす影響」

報告者：小倉優海（立命館大学大学院）

16：05～16：50（発表25分・質疑20分）

報告(4)：「自己効力感が価値共創におけるサービス・リカバリーに及ぼす影響」

報告者：胡 怡（神戸大学大学院）

-----11月部会研究会-----

【日時】 2019年11月16日（土）13:30-17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30-17：00）

テーマ：「マーケティング研究で『オーセンティシティ』を問うことの意義」

コーディネーター：吉田 満梨（立命館大学）

13：30～13：40（10分）

解題：吉田 満梨（立命館大学）

13：40～14:20（報告 40 分）

研究報告(1)：「ツーリズムとオーセンティシティ」

報告者：寺崎 新一郎（立命館大学）

14：20～14：40（20 分）質疑応答

14：40～14：50（10 分）休憩

14：50～15：30（40 分）

研究報告(2)：「グローバル・ラグジュアリー企業はいかに偽物ブランドに対する肯定的なクチコミの影響を緩和しうるか」

報告者：菊盛 真衣（立命館大学）・金 昌柱（立命館大学）

15：30～15：50（20 分）質疑応答

15：50～16：00（10 分）休憩

16：00～16：40（40 分）

研究報告(3)：「ブランドの本物感研究の系譜と課題」

報告者：田中 祥司(摂南大学)・高橋 広行(同志社大学)

16：40～17：00（20 分）質疑応答

-----1 月部会研究会-----

【日時】 2020 年 1 月 25 日（土）13:30-17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30-17：00）

テーマ：「地方創生時代における地域産業・地場産業の課題と可能性」

コーディネーター：西村 順二（甲南大学）

13：30～13：45（15 分）

問題提起：西村 順二（甲南大学）

13：45～14:35（報告 50 分）

研究報告(1)：「伝統工芸産業産地の存続と企業家活動」

報告者：山田 幸三（上智大学）

14：35～14：45（10分） 質疑応答

14：45～14：55（10分） 休憩

14：55～15：50（55分）

研究報告(2)：「産地のビジネスシステム」

報告者：加護野 忠男（神戸大学）

15：50～16：00（10分） 休憩

16：00～17：00（60分）

鼎談：「地域・地場産業のこれから」

加護野 忠男（神戸大学）・山田 幸三（上智大学）・西村 順二（甲南大学）

関西部会 2018年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2018年4月21日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30～15：50）

テーマ：「変化する百貨店と競争力の源泉」

コーディネーター：藤岡里圭（関西大学）

13：30～13：40（10分）

解題「変化する百貨店と競争力の源泉」

藤岡里圭（関西大学）

13：40～14:20（40分）

報告(1)：「日本におけるラグジュアリー市場の拡大と百貨店」

報告者：藤岡里圭（関西大学）、金子雄太（関西大学）、李振（東洋大学）

14：20～14：40（20分） 質疑応答

14：40～14：50（10分） 休憩

14：50～15：30（40分）

報告(2)：「委託型出店契約の分析－仕入形態・出店形態からの検討」

報告者：岡野純司（愛知学院大学）

15：30－15：50 (20分) 質疑応答

15：50－16：00 (10分) 休憩

自由論題セッション (16：00－17：00)

16：00－16：40 (40分)

報告(1)：「なぜ愛着があったブランドがどうしても良くなるのか－
製品特性を考慮した因果分析－」

報告者：酒井 博章（大阪産業大学）

16：40－17：00 (20分) 質疑応答

-----6月部会研究会-----

【日時】 2018年6月16日（土）13:30～17:00

【場所】 神戸大学梅田インテリジェントラボラトリー（梅田ゲートタワー8F）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13：30－15：50)

テーマ：「消費者との共創」

コーディネーター：清水信年（流通科学大学）

13：30－13：35 (5分)

本日の報告者紹介（コーディネーターより）

13：35－14:15 (40分)

報告(1)：「ユーザーイノベーションの普及：fablabの調査を踏まえて」

報告者：于 キン（立命館大学）

14：15－14：35 (20分) 質疑応答

14：35－14：50 (15分) 休憩

14：50－15：30 (40分)

報告(2)：「家事の分担構造から見た消費者像の考察」

報告者：森藤ちひろ（流通科学大学）

15：30－15：50 (20分) 質疑応答

15：50－16：00 (10分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「価値共創型小売業におけるイノベーション戦略に関する一考察」

報告者：中見真也 (学習院大学)

16：40－17：00 (20分) 質疑応答

-----7月部会研究会-----

【日時】 2018年7月21日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「チャネル研究の再活性化」

コーディネーター：崔 容熏 (同志社大学商学部)

13：30－14:10 (40分)

報告(1)：「デュアル・チャネルの選択に関する実証分析」

報告者：高田英亮 (慶應義塾大学商学部)

14：10－14：30 (20分) 質疑応答

14：30－14：45 (15分) 休憩

14：45－15：25 (40分)

報告(2)：「流通チャネルにおける代替的ガバナンス手段としての組織能力」

報告者：崔容熏 (同志社大学商学部)・原頼利 (明治大学商学部)

15：25－15：45 (20分) 質疑応答

15：45－16：00 (15分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「流通チャネルにおける関係破壊的行為と取引相手の反応」

報告者：久保知一 (中央大学商学部)・結城祥 (中央大学商学部)

16：40～17：00 (20分) 質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】 2018年9月15日(土) 13:30～17:00

【場所】 関西学院大学梅田キャンパス 1405教室

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「観光マーケティング」

コーディネーター： 山本昭二(関西学院大学)

13：30～14:10 (40分)

報告(1)：「地域ブランドを活用した地域活性化を主導する組織のマーケティング
：四万十ドラマの事例を中心に」

報告者：米田 晶(関西学院大学専門職大学院)

14：10～14：30 (20分) 質疑応答

14：30～14：45 (15分) 休憩

14：45～15：25 (40分)

報告(1)：「メモラブル・ツーリズム・エクスペリエンシーズの先行要因と
結果要因に関する研究」

報告者：田中祥司(摂南大学)

15：25～15：45 (20分) 質疑応答

15：45～16：00 (15分) 休憩

16：00～16：40 (40分)

報告(3)：「高齢化社会における観光のブランドマネジメント」

報告者：国枝よしみ(大阪成蹊大学)

16：40～17：00 (20分) 質疑応答

-----10月部会研究会-----

【日時】 2018年10月20日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ： 「流通研究の新展開」

コーディネーター： 高嶋克義（神戸大学）

13：30～13：40（10分）

解題：高嶋克義（神戸大学）

13：40～14：30（50分）

報告(1)：「地域商業に対するボランタリーチェーンの有効性再考」

報告者：西村順二（甲南大学）

14：30～15：10（40分）ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

15：10～15：30（20分） 休憩

15：30～16：20（50分）

報告(2)：「マーケティング・チャンネル管理と製品開発の成果」

報告者：結城祥（中央大学）

16：20～17：00（40分）ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

-----11月部会研究会-----

【日時】 2018年11月17日（土）13:30～17:00

【場所】 関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館F402教室

【報告者および報告論題】

大学院生セッション

13：30～14：00（30分）

報告(1)：「消費者イノベーションの統計調査に関する文献展望」

報告者：西 大輔（神戸大学大学院）

14：00～14：15（15分） 質疑応答

14：15～14：25（10分） 休憩

14：25～14：55 (30分)

報告(2)：「ブランド拡張におけるマーケティング・コミュニケーションの効果」

報告者：小林 巳尋 (立命館大学大学院)

14：55～15：10 (15分) 質疑応答

15：10～15：20 (10分) 休憩

15：20～15：50 (30分)

報告(3)：「ビールブランドにおける味覚と銘柄認知の不一致」

報告者：松村 憲吾 (京都大学大学院)

15：50～16：05 (15分) 質疑応答

16：05～16：15 (10分) 休憩

16：15～16：45 (30分)

報告(4)：「産業集積における商人的コーディネーターの役割に関する研究
：空間的制約を突破する非ハイテク産業集積の事例を中心に」

報告者：蔣 辛未 (関西大学大学院)

16：45～17：00 (15分) 質疑応答

懇親会 17:00-19:00

-----1月部会研究会-----

【日時】 2019年1月19日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

会員総会 13:15～13:30

次期理事候補者の信任投票

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「研究成果の国際発信への課題」

コーディネーター：金 昌柱氏 (立命館大学)

13：30～13：40 (10分)

解題：「研究成果を国際発信する必要性と課題を考える」

金 昌柱 (立命館大学)

13 : 40~14 : 05 (25 分)

報告者(1): 金 昌柱 (立命館大学)

報告事例 : Kim, Changju, Katsuyoshi Takashima and Stephen Newell (2018), “How Do Retailers Increase the Benefits of Buyer Innovativeness?: An Intra- and Inter-organization Perspective”, Asia Pacific Journal of Marketing and Logistics, 30 (3), 571-586.

14 : 05-14 : 15 (10 分) 質疑応答

14 : 15-14 : 25 (10 分) 休憩

14 : 25-14 : 50 (25 分)

報告者(2) : 吉田 満梨 (立命館大学)

報告事例 : Thyne, Maree, Leah Watkins and Mari Yoshida (2018), “Resident Perceptions of Tourism: The Role of Social Distance”, International Journal of Tourism Research, 20 (2), 256-266.

14 : 50-15 : 00 (10 分) 質疑応答

15 : 00-15 : 10 (10 分) 休憩

15 : 10-15 : 35 (25 分)

報告者(3) : 崔 容熏 (同志社大学)

報告事例 : Choi, Yonghoon, and Yoritoshi Hara (2018), “The Performance Effect of Inter-Firm Adaptation in Channel Relationships: The Roles of Relationship-Specific Resources and Tailored Activities”, Industrial Marketing Management, 70, 46-57.

15 : 35-15 : 45 (10 分) 質疑応答

15 : 45-16 : 00 (10 分) 休憩

16 : 00-17 : 00 パネルディスカッション

パネラー : 南 知恵子 (神戸大学)

崔 容熏 (同志社大学)

吉田 満梨 (立命館大学)

司会 : 金 昌柱 (立命館大学)

関西部会 2017 年度部会研究会

-----4 月部会研究会-----

【日時】 2017年4月22日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

事務局連絡(部会選出新役員と今年度スケジュール) 13:30～13:40

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション 13:40～17:00

テーマ:「地域ブランド研究の現状と課題」

コーディネーター:小林 哲(大阪市立大学)

2014年の第二次安倍改造内閣発足時に発表された地方創生政策やインバウンドの増加を受けて、地域ブランディングが再び注目を集めている。

そこで、4月例会では現在の地域ブランド研究の動向について多面的に検討する。

13:40～14:20 (40分)

報告(1):「地域ブランディングにおける地域ブランドと地域産品の非対称性」

報告者:小林哲(大阪市立大学)

14:20～14:40 (20分) 質疑応答

14:40～15:20 (40分)

報告(2):「地域ブランディングにおけるマネジメント・モデルの批判的検討」

報告者:徳山美津恵(関西大学)

15:20～15:40 (20分) 質疑応答

15:40～16:00 (20分) 休憩

16:00～16:40 (40分)

報告(3):「美食を通じた地域ブランディングの事例研究

ースペイン バスク地方「美食都」:サン・セバスチアンの成功要因の解明ー」

報告者:高橋広行(同志社大学)

16:40～17:00 (20分) 質疑応答

-----5月部会研究会-----

【日時】 2017年5月20日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

テーマ：「人口減少・都市縮減時代における新しいまちづくりの方向」

13:30～13:40

解題：石原武政（大阪市立大学名誉教授）

13:40～14:40（報告40分、質疑20分）

報告(1)：「老朽化商業施設問題にみる商業まちづくりの展開と論点（仮）」

報告者：高室 裕史（流通科学大学）

14:40～14:50 休憩（10分）

14:50～15:50（報告40分、質疑20分）

報告(2)：「フラノマルシェのまちづくりはなぜ成功したかー地域経済循環の視点からー」

報告者：加藤 司（大阪商業大学）

15:50～16:00 休憩（10分）

16:00～17:00（報告40分、質疑20分）

報告(3)：「都市間競争の理論的枠組み」

報告者：吉田 創（滋賀短期大学・非常勤）

-----6月部会研究会-----

【日時】 2017年6月17日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「観光ビジネスのマネジメントとマーケティング」

コーディネーター：若林靖永（京都大学）

13:30～13:40（10分）

解題：若林 靖永（京都大学）

13:40～14:25（報告30分、質疑15分）

報告(1)：「観光への経営学的接近」

報告者：前川佳一（京都大学）

14：25～15：10（報告30分、質疑15分）

報告(2)：「日本の Destination Marketing Organization のあり方
ーアメリカの DMO との比較」

報告者：原忠之（セントラルフロリダ大学）

15：10～15：20（10分） 休憩

15：20～16：05（報告30分、質疑15分）

報告(3)：「ホテルオーナーとホテルオペレーターの協働
ー日本におけるホテルマネジメント契約の課題ー」

報告者：西山桂子（京都大学・立教大学研究員）

16：05～16：50（報告30分、質疑15分）

報告(4)：「国際会議が開催地に与える価値・効果ー2011年東日本大震災時の事例」

報告者：西本恵子（日本コンベンションサービス、京都大学経営管理大学院博士後期課程）

16：50～17：00 コーディネーターまとめ

若林靖永（京都大学）

-----7月部会研究会-----

【日時】 2017年7月15日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

自由論題セッション（13：30－17：00）

13：30－14：10（40分）

報告(1)：「流通構造決定要因の時系列分析」

報告者：加茂英司（大阪学院大学）

14：10－14：30（20分） 質疑応答

14：30－14：45（15分） 休憩

14：45－15：25（40分）

報告(2)：「日本のリレーションシップ・マーケティング要素の考察
：Sales Excellence Week（Finland）における発表が示唆するもの」

報告者：出野和子（関西学院大学経営戦略研究科）

15：25－15：45（20分） 質疑応答

15：40－16：00 (15分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「ブランドの本物感の醸成：醸成に必要な要素の検討」

報告者：田中祥司（神戸山手大）・高橋広行（同志社大学）

16：40－17：00 (20分) 質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】 2017年9月16日（土）13:30～17:00

【場所】 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「小売研究の新展開」

13：30－13：40 (10分)

解題：高嶋克義（神戸大学）

13：40－14：25 (45分)

報告(1)：「チェーン型小売企業における活用と探索の組織学習が経営成果に及ぼす影響」

報告者：森村文一（神戸大学）

14：25－15：10 (45分) ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

15：10－15：30 (20分) 休憩

15：30－16：15 (45分)

報告(2)：「市場志向とサプライチェーン志向が成果に及ぼす影響：小売業を対象として」

報告者：坂川裕司（北海道大学）

16：15－17：00 (45分) ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

-----10月部会研究会-----

【日時】 2017年10月14日（土）13:30～17:00

【場所】 龍谷大学・大阪梅田キャンパス・セミナールーム
(ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階)

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「情報とサービスに関する研究の多面的アプローチ」

コーディネーター：南 知恵子（神戸大学）

13：30－13：40（10分）

解題：「情報、サービス、ビジネスシステム」

南 知恵子（神戸大学）

13：40－14：20（40分）

報告(1)：「理性的思考モードと感情的思考モードの程度依存に影響を与える要因」

報告者：庄 旭紅（京都大学）

14：20－14：40（20分） 質疑応答

14：40－14：50（10分） 休憩

14：50－15：30（40分）

報告(2)：「インフォメディアリにおける双方向性が生み出す価値」

報告者：川本 倫子（高知工科大学）

15：30－15：50（20分） 質疑応答

15：50－16：00（10分） 休憩

16：00－16：40（40分）

報告(3)：「製造業のサービス化戦略」

報告者：西岡 健一（関西大学）

16：40－17：00（20分） 質疑応答

-----11月部会研究会-----

【日時】 2017年11月18日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

自由論題セッション（13：30－17：00）

13：30－14：10 (40分)

報告(1)：「消費者のイノベーションの採用に行動的経験が与える影響」

報告者：牧野 耀(立命館大学)

14：10－14：30 (20分) 質疑応答

14：30－14：45 (15分) 休憩

14：45－15：25 (40分)

報告(2)：「行商と移動販売における現代的意義と課題の検討」

報告者：坂田 博美 (富山大学)

15：25－15：45 (20分) 質疑応答

15：40－16：00 (15分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「多数のサプライヤーから中間財を調達する企業の利潤」

報告者：成生 達彦 (京都大学)

16：40－17：00 (20分) 質疑応答

-----1月部会研究会-----

【日時】 2018年1月20日(土) 13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「流通における動態の現代的意味：環境適応する流通」

13：30－13：45 (15分)

問題提起：「現代の流通における動態」

西村順二 (甲南大学)

13：45－14：25 (40分)

報告(1)：「製造小売事業ブランド生成の論理」

報告者：木下明浩 (立命館大学)

14：25－14：35（10分） 質疑応答

14：35－14：45（10分） 休憩

14：45－15：35（50分）

報告(2)：「地域店の生産性向上を目指し進化し続けるボランタリーチェーン事業戦略」

報告者：三浦一光（コスモス・ベリーズ（株）会長）

15：35－15：45（10分） 休憩

15：45－16：55（70分） パネル討論

パネラー：三浦 一光（コスモス・ベリーズ(株)会長）

石原武政（大阪市立大学 名誉教授）

木下 明浩（立命館大学 教授）

コーディネーター：西村 順二（甲南大学 教授）

関西部会 2016年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2016年4月16日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「小売研究の新展開」

13：30－13：40（10分）

解題：高嶋克義（神戸大学）

13：40－14：25（45分）

報告(1)：「小売企業はオムニチャネルから収益を得られるのか

－その条件と可能性に関する探索的考察－」

報告者：金雲鎬（日本大学）

14：25－15：10（45分） ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

15：10－15：30（20分） 休憩

15：30－16：15 (45分)

報告(2)：「小売の輪はどのように回転したのか？

－小売業態イノベーションのマルチレベル分析－」

報告者：久保知一（中央大学）

16：15－17：00 (45分) ディスカッションと質疑応答

討論者：高嶋克義（神戸大学）

-----5月部会研究会-----

【日時】 2016年5月21日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30－16：00）

テーマ：「流通論パラダイム 風呂勉の世界」

コーディネーター： 清水信年（流通科学大学）

13：30－13：45 (15分)

解題：「風呂勉が追求したもの」

石原武政（流通科学大学 特別教授）

13：45－14：25 (40分)

報告(1)：「風呂理論を現代の流通研究にどう活かすか？」

報告者：加藤司（大阪商業大学）

14：25－14：45 (20分) 質疑応答

14：45－14：50 (5分) 休憩

14：50－15：30 (40分)

報告(2)：「風呂（1960）の「自己雇用」概念の再考察」

報告者：柳到亨（和歌山大学）

15：30－15：50 (20分) 質疑応答

15：50－16：00 (10分) 休憩

自由論題セッション（16：00－17：00）

報告(1)：「日本型おもてなしと顧客感動のメカニズム 一万葉集の宴、源氏物語
の宴、連歌の座から 現代のSDLとSLの論争にかかわって」

報告者：相島淑美（関西学院大学）

コメンテーター：高室裕史（流通科学大学）

-----6月部会研究会-----

【日時】 2016年6月17日（金）18:45～20:50

【場所】 関西学院大学梅田キャンパス

茶屋町アプロースタワー10階 1004教室(事務室は14階)

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「消費者のグローバル化」

18：45－18：55（10分）

解題：山本昭二（関西学院大学）

18：55－19：20（25分）

報告(1)：「集団主義文化内における消費者行動の違い：日本と中国の国際比較研究」

報告者：鈴木智子（京都大学）

19：20－19：45（25分） ディスカッションと質疑応答

19：45－20：00（15分） 休憩

20：00－20：25（25分）

報告(2)：「観光ビジネスにおける伝統の役割：テンプルステイに見る文化の再創出」

報告者：姜聖淑（帝塚山大学）

20：25－20：50（25分） ディスカッションと質疑応答

-----7月部会研究会-----

【日時】 2016年7月16日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13：30－16：00）

テーマ：「“便益遅延性”の視点からのサービス研究」

コーディネーター：藤村和宏（香川大学）

13：30－14：10（40分）

報告(1)：「“便益遅延性”概念の適用領域の拡大」

報告者：藤村和宏（香川大学）

14：10－14：30（20分）質疑応答

14：30－14：45（15分） 休憩

14：45－15：25（40分）

報告(2)：「患者中心の看護実践のケースから考察する便益遅延型サービスのマネジメント
－物語概念の検討を含めて－」

報告者：高室裕史（流通科学大学）

15：25－15：45（20分）質疑応答

15：40－16：00（15分） 休憩

16：00－16：40（40分）

報告(3)：「便益遅延型サービスにおける自己効力感の効用」

報告者：森藤ちひろ（流通科学大学）

16：40－17：00（20分）質疑応答

-----9月部会研究会-----

【日時】 2016年9月17日（土）13:30～17:00

【会場】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

自由論題セッション（13：30－17：00）

13：30－14：10（40分）

報告(1)：「商品取り扱い技術概念の考察」

報告者：松田温郎（山口大学）

14：10－14：30（20分）質疑応答

14：30－14：45（15分） 休憩

14：45－15：25 (40分)

報告(2)：「商業環境が消費者の購買行動に及ぼす影響－出版物の購買行動を事例に」

報告者：秦洋二 (流通科学大学)

15：25－15：45 (20分) 質疑応答

15：40－16：00 (15分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「家電メーカーのチャネル政策と系列店の役割」

報告者：成生達彦 (京都大学) ・ 李東俊 (名古屋商科大学)

16：40－17：00 (20分) 質疑応答

-----10月部会研究会-----

【日時】 2016年10月15日(土) 13:30～17:10

【場所】 神戸大学学友会大阪クラブ・大阪凌霜クラブ セミナールーム
(大阪駅前第1ビル11F)

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13：30－17：00)

テーマ：「サービス研究における学際的アプローチ」

コーディネーター： 南 知恵子 (神戸大学)

13：30－14：10 (40分)

報告(1)：「サービスの再購買意図形成における諸概念の検討と新モデル開発に向けて」

報告者：千葉貴宏 (関西大学)

14：10－14：30 (20分) 質疑応答

14：30－14：45 (15分) 休憩

14：45－15：25 (40分)

報告(2)：「顧客接点における付加価値向上のためのサービスプロセスの構成」

報告者：嶋田敏 (京都大学)

15：25－15：45 (20分) 質疑応答

15：40－16：00 (15分) 休憩

16：00－16：40 (40分)

報告(3)：「広島のお好み焼きの海外展開

－サービス・グローバリゼーションに関する試論的考察」

報告者：細井謙一（広島経済大学）

16：40－17：00 (20分)質疑応答

-----11月部会研究会-----

【日時】 2016年11月18日（金）18:45～20:50

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

自由論題セッション（18：45－17：00）

18：45－19：25 (40分)

報告(1)：「ユーザー起業家が成長のボトルネックを克服できるのか？」

報告者：于キン（立命館大学）

19：25－19：45 (20分) 質疑応答

19：45－19：50 (5分) 休憩

19：50－20：30 (40分)

報告(2)：「小売企業における漸進的イノベーションを発生させる組織体制

－アクション リテイリングのTQMに関する事例研究－」

報告者：岸本徹也（流通科学大学）

20：30－20：50 (20分)質疑応答

-----1月部会研究会-----

【日時】 2017年1月21日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター ホール（大阪駅前第2ビル6階）

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「大きな環境変化の中にある現代の流通－どう捉えればよいのか」

13:30－13:45

報告(1)：「問題提起 流通における業態・業種の分離と統合」

報告者：西村順二 (甲南大学)

13:45-13:50 (5分) 質疑応答

13:50-14:30

報告(2)：「酒類流通システムにおける 商業ネットワークと業種融合」

報告者：二宮麻里 (福岡大学)

14:30-14:50 (20分) 質疑応答

14:50-15:00 (10分) 休憩

15:00-15:40

報告(3)：「小売業者の垂直的統合に関する新視点からの評価」

報告者：東伸一 (青山学院大学)

15:40-16:00 (20分) 質疑応答

16:00-17:00

鼎談：東伸一、二宮麻里、西村順二

関西部会 2015年度部会研究会

-----4月部会研究会-----

【日時】 2015年4月18日(土) 13:30~17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階

【報告者および報告論題】

統一テーマ：「小売国際化研究の最先端」

13:30~15:40 報告

解題：「日本における小売国際化研究の回顧・現状・行方」

崔 相鐵 (流通科学大学) (13:30~13:45)

13:45~14:30

報告(1)：「小売国際化の新概念 -グローバル・ポートフォリオ戦略-」

報告者：向山雅夫（流通科学大学）

14:30～15:00

報告(2)：「ケーススタディ：ニトリの国際商品調達」

報告者：白 貞壬（流通科学大学）

15：00-15：30

報告(3)：「ケーススタディ：良品計画のブランド刷新」

報告者：鳥羽達郎（富山大学）

15：30-15：40

問題提起：「“研究の国際化”に向けての課題」

向山雅夫（流通科学大学）

16：00-17：00 ディスカッション

司会：崔 相鐵（流通科学大学）

-----5月部会研究会-----

【日時】 2015年5月15日（金）18:45～20:50

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階

【報告者および報告論題】

テーマ：「営業・消費者行動」

コメンテーター：山本昭二（関西学院大学）

研究報告（報告20分、コメント・質疑40分）

18:45～19:45

報告(1)：「営業管理体制の変革に関する考察－OA機器メーカーの事例－」

報告者：兔内祥子（神戸大学大学院）

19:50～20:50

報告(2)：「ブランドの本物感の研究－尺度開発に向けた探索的研究－」

報告者：田中祥司（神戸山手大学）・高橋広行（同志社大学）

-----6月部会研究会-----

【日時】 2015年6月28日（日）13:00～17:00

【場所】 関西学院大学梅田キャンパス

茶屋町アプローズタワー10階 1004教室(事務室は14階)

【報告者および報告論題】

テーマ：「プライベート・ブランド」

コメンテーター：川端基夫（関西学院大学）

研究報告（報告 20 分、コメント・質疑 40 分）

13:00～14:00

報告(1)：「スポーツ用品小売企業の PB 開発体制に関する考察」

報告者：西春奈氏（神戸大学大学院）

14:05～15:05

報告(2)：「食品メーカーのデュアル・ブランド戦略 - NB and/or PB -」

報告者：浦上拓也氏（神奈川大学）

15:10～16:10

報告(3)：「有力メーカーによる小売ブランド生産の必要性と受託動機」

報告者：大野尚弘氏（金沢学院大学）

-----7 月部会研究会-----

【日時】 2015 年 7 月 25 日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第 2 ビル 6 階

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション（13:30～16:00）

テーマ：「小売業研究と店舗問題」

コーディネーター：川端基夫（関西学院大学）

13:30～13:50

解題：「小売業研究における『店舗』の再検討」

川端基夫（関西学院大学）

13:50～14:55

報告(1)：「ユニクロのグローバル戦略と出店開発」

報告者：元田武成(株)ファーストリテイリング グループ執行役員グローバル出店開発担当)

15:00～16:00 総合討論

自由論題（16:10～17:10）

報告(1)：「状況論とアクターネットワーク理論の世界観と
イノベーション研究への適用可能性」

報告者：入江信一郎（京都工芸繊維大学）

-----9月部会研究会-----

【日時】 2015年9月19日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

コーディネーター：川上智子（早稲田大学）

テーマ：「クラウドとしてのユーザーのパワーと革新」

13:30-13:35

解題：川上智子（早稲田大学）

13:40-14:40

報告(1)：「ユーザー起業者精神に関する実証研究:製品使用活動と
“競創”メカニズムの解明」

報告者：于キン(ウ・キン)（鈴鹿大学）

14:45-15:45

報告(2)：「オンラインにおける消費者行動」

報告者：岸谷和広（関西大学）

休憩 15:45-16:00（15分）

16:00-17:00

報告(3)：「マーケティング視点のオープン・イノベーション：
革新的シーズと潜在ニーズを統合するモデルとその実践」

報告者：川上智子（早稲田大学）

-----10月部会研究会-----

【日時】 2015年10月17日（土）13:30～17:10

【場所】 関西学院大学梅田キャンパス

茶屋町アプローズタワー14階 1405 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13:30~16:00)

テーマ:「オムニチャネルの理論的検討」

コーディネーター: 山本昭二 (関西学院大学)

13:30-14:00

解題:「オムニチャネル研究の課題と可能性」

山本昭二 (関西学院大学)

14:00-15:00

報告(1):「オムニチャネルの対消費者戦略」

報告者: 西原彰宏 (亜細亜大学)

15:00-16:00

報告(2):「オムニチャネルを支える技術と発展段階」

報告者: 山本昭二 (関西学院大学)

休憩 16:00-16:10

自由論題セッション (16:10-17:10)

報告(1):「地域ブランド研究における理論的課題の再検討」

報告者: 渡邊正樹 (神戸大学大学院)

コメンテーター: 小林哲(大阪市立大学)

-----11 月部会研究会-----

【日時】 2015 年 11 月 14 日 (土) 13:30~17:10

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第 2 ビル 6 階

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション (13:30~16:00)

テーマ:「商店街活動におけるリーダーシップ研究の可能性」

コーディネーター: 佐藤善信 (関西学院大学)

解題: 佐藤善信(関西学院大学)

報告(1):「商店街の活性化におけるリーダーの役割とリーダーシップの類型化」

報告者: 湯川寛学 (関西学院大学大学院修了生)

報告(2)：「地域ブランドの構築からみる地域商業の役割」

報告者：濱満久（名古屋学院大学）

Q&A セッションとまとめ

佐藤善信（関西学院大学）

自由論題（16:10～17:10）

報告(1)：「複数のコミュニケーション・チャンネルを利用する情報探索行動の規定因」

報告者：日下恭輔（神戸大学大学院）

コメンテーター：徳山美津恵（関西大学）

-----12月部会研究会-----

【日時】 2015年12月12日（土）13:30～16:50

【場所】 立命館大学 大阪いばらきキャンパス C棟 C471セミナールーム

【報告者および報告論題】

13:30～14:30（報告40分、質疑応答20分）

報告(1)：「サービス・マネジメントの視点と展望」

報告者：岡山武史（近畿大学）・松井温文（追手門学院大学）・

今光俊介（鈴鹿国際大学）・奥澤英亮（明治大学）

14:40～15:40（報告20分、コメント+質疑応答40分）

報告(2)：「生産材企業における営業担当者の関係性と拡張性枠組みの再検討」

報告者：薄井健（神戸大学大学院）

コメンテーター：崔容熏（同志社大学）

15:50～16:50（報告40分、質疑応答20分）

報告(3)：「革新的なMDの条件：プロセス・コンフリクトの調整効果」

報告者：高嶋克義（神戸大学）・金昌柱（立命館大学）

-----1月部会研究会-----

【日時】 2016年1月23日（土）13:30～17:00

【場所】 大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第2ビル6階ホール

【報告者および報告論題】

コーディネーターセッション

テーマ：「流通の生産性と消費者満足の関係性」

13:30-13:45(15分)

報告(1)：「問題提起 流通における成果と消費者」

報告者：西村順二（甲南大学）

13：45－14：10(25分)

報告(2)：「小売企業のマルチチャンネル化に伴う生産性の変化」

報告者：田頭拓己（神戸大学大学院）

14：10－14：35（25分）コメントと質疑応答

コメンテーター：成生達彦（京都大学）

14：35－14：45(10分) 休憩

14：45－15：10(25分)

報告(3)：「ショールーミングへの対策としてのオムニチャンネル（仮題）」

報告者：成生達彦（京都大学）

15：10－15：45(35分)

報告(4)：「現代消費者の満足構造と流通企業のマーケティング対応」

報告者：三浦俊彦（中央大学）

15：45－15：55(10分) 休憩

15：55－17：00(65分)

「鼎談」

パネラー：三浦俊彦（中央大学）、成生達彦（京都大学）

司会進行：西村順二（甲南大学）